

「NO は、なし」から始まった農福連携

社会福祉法人 秀幸福社会（大阪府）

住所	〒567-0022 大阪府茨木市三島町 1 番 10 号
TEL	072-625-8070
URL	http://www.care-net.biz/27/shohei
経営理念	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるよう創意工夫をすることにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、またその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
事業内容及び定員	認定こども園：4 ヶ所（180 名、90 名、70 名、20 名） 介護老人福祉施設：1 ヶ所（入所 56 名、ショートステイ 20 名） 通所介護：2 ヶ所（35 名、59 名） 地域密着型通所介護：1 ヶ所（15 名） 居宅介護支援事業所：2 ヶ所 訪問介護：2 ヶ所 地域包括支援センター：3 ヶ所 放課後等デイサービス：2 ヶ所（15 名、10 名） 障害者相談支援センター：2 ヶ所 就労継続支援 B 型：1 ヶ所（20 名） 多世代交流センター：1 ヶ所（100 名） いきいきネット（CSW 配置）相談支援センター：1 ヶ所
収入 (法人全体) 令和 3 年度決算	①社会福祉事業 1,629,416,634 円
	②公益事業 0 円
	③収益事業 0 円
職員数 (法人全体)	319 名（非常勤を含む）

「NOは、なし」から 始まった農福連携



社会福祉法人 秀幸福社会
就労継続支援B型事業所 ファーム大岩の杜

I. 法人概要



社会福祉法人 秀幸福社会

法人設立 昭和54年4月

■ 法人理念

社会福祉法人 秀幸福社会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるように支援することを目的としています。

「NOは、なし！」

すべての人々が、その地域で
暮らすことができるように切れ目のない支援を一



■ 事業内容

高齢者介護部門

- | 高齢者総合施設 庄栄エルダーセンター
 - ▶特別養護老人ホーム
 - ▶短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
 - ▶通所介護・介護予防通所介護
 - ▶認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護
 - ▶居宅介護支援
 - ▶訪問介護
 - ▶配食サービス
- | 高槻エルダーセンター
 - ▶通所介護・介護予防通所介護
 - ▶認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護
 - ▶居宅介護支援
 - ▶訪問介護
- | デイサービスセンター未来
 - ▶地域密着型(認知症対応型)通所介護
- | 地域包括支援センター
 - ▶三島・庄栄地域包括支援センター
 - ▶太田・西河原地域包括支援センター
 - ▶東・白川地域包括支援センター
- | 福井多世代交流センター
- | いきいきネット相談支援(CSW配置)
- | 居住支援法人

障がい福祉部門

- | ひまわり
 - ▶放課後等デイサービス
- | フォルテひまわり
 - ▶放課後等デイサービス
- | ひまわり
 - ▶委託相談支援
 - ▶指定一般相談支援事業
 - ▶特定相談支援事業所
 - ▶障がい児相談支援事業
- | ひまわりの杜
 - ▶茨木市地域活動支援センターⅢ型
- | ファーム大岩の杜
 - ▶就労継続支援B型

児童福祉部門

- | ちとせ学院
 - ▶認定こども園
 - ▶放課後児童健全育成事業
- | ちとせ学院 めぐみの森
 - ▶認定こども園
 - ▶放課後児童健全育成事業
- | ちとせ学院 DUE南茨木
 - ▶認定こども園

II. 事業所概要

ファーム大岩の杜

障害福祉サービス:就労継続支援B型事業

| 定 員 20名/日

| 実施地域 茨木市、近隣市町村

| 工 賃 200円/時 通所奨励金 100円/日

Ⅰ 生産部

- ▶農福連携事業
- ▶農作業



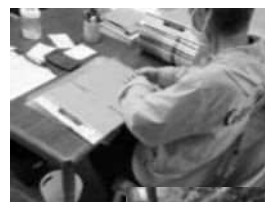
Ⅱ 販売部

- 農福連携事業—やおや—
- 各種販売会の企画・運営



Ⅲ 技術部

- 建物清掃・公園清掃作業
- 各種内職作業



III. 『農福連携』のはじまり

Ⅰ 就労継続支援B型とは



就労支援

- ・ 就労移行支援
- ・ 就労定着支援
- ・ 就労継続支援 (A型/B型)

Ⅱ 事業所数

全国13,828か所 (令和3年1月)

Ⅲ 利用者数

全国282,409人 (令和3年1月)

参照: 厚生省第112回社会保障審議会障害者部会 (令和3年6月21日) 資料5

Ⅳ 主な利用対象者

就労意欲があり、中・軽度の障害がある方

□より簡潔で、反復性のある作業

＝組立、解体、梱包などの下請け作業



単価: 0.× 円の世界

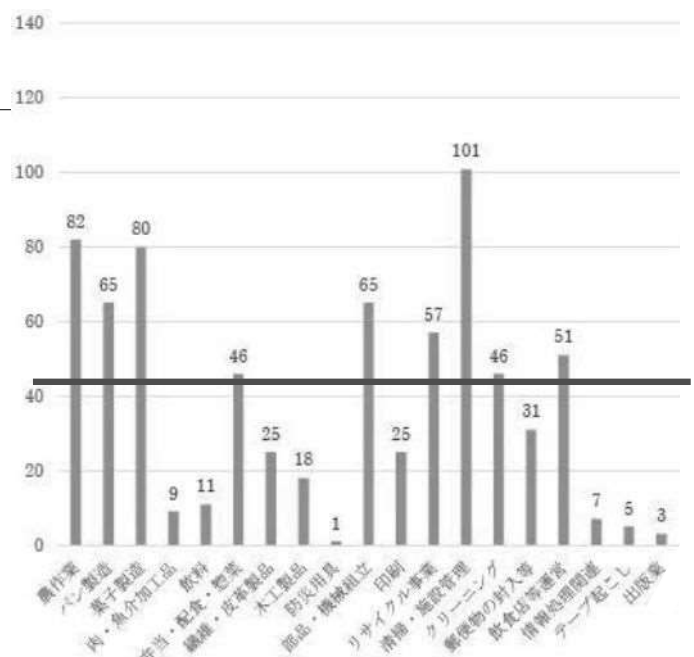
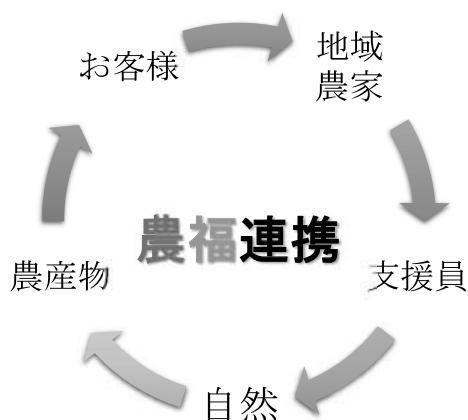


III. 『農福連携』のはじまり

Ⅰ 身体を動かし、常にコミュニケーションを取り合い

自然に触れ合うことで、心身ともに健やかになれる作業

Ⅱ 発展のある作業



引用 (一部抜粋): 厚生労働省 平成29年度障害者総合福祉推進事業
就労継続支援 A 型・B 型の賃金・工賃の向上に関する モデル事例収集と成功要因の分析に係る調査研究

III. 『農福連携』のはじまり



耕作放棄地を借り上げ、生産活動を地域農家と共同で取り組む



IV. 『農福連携』の取り組み



『地域農家さんとの共同』

- Ⅰ 福祉職の弱点＝スペシャリストではあるが、ゼネラリストではない
- Ⅱ 福祉事業所の弱点＝一般者からすると敷居が高い
支援員 ⇄ 当事者の限定的な関り



- ◆ 世代間交流
 - ・当たり前の関り
 - ・繋がりへの広がり
- ◆ 知恵・スキルの習得
- ◆ 農作業の活性化
 - ・収穫のお手伝い
- ◆ 地区の活性化
 - ・地区全体での見守り

応援して頂いている地域の皆さん(一部掲載)

農作業のノウハウや農産物の販売にご協力いただいている地域農家さんなど現在では31名の皆さんと繋がりをもたせて頂いております。

みなさんの声

- ・若い声にパワーをもらっています！
- ・山が明るくなった！！
- ・細々と作っていた野菜をたくさんの人に食べてもらうきっかけをいただけて感謝しています！
- ・新しい風を吹かせてください！
- ・障がい者が怖い人という勝手な印象が、なくなりました！



茨木市 北部整備推進課との共同企画

- ・茨木市内の市民団体
- ・茨木市 北部整備推進課(北部の町おこし)

× ファーム大岩の杜

地区全体の活性化につながり
農福連携がきっかけに特産物の発信や
町おこしイベントの企画・運営を実施



IV. 『農福連携』の取り組み



『支援補助員の受け入れ』

- Ⅰ 福祉職の弱点＝スペシャリストではあるが、ゼネラリストではない
- Ⅱ 福祉事業所の弱点＝支援員 ⇄ 当事者の限定的な関り



Ⅰ 就労継続支援B型の人員配置基準

- | 管理者
- | サービス管理責任者
- | 職業指導員
- | 生活支援員

Ⅱ ファーム大岩の杜の人員配置

- | 管理者
- | サービス管理責任者
- | 職業指導員
- | 生活支援員
- ↳ 福祉専門職(福祉職経験者、福祉系有資格者など)
- ↳ 作業補助職(農作業経験者、農業系有資格者など)



IV. 『農福連携』の取り組み



『働きながらリハビリを』

- Ⅰ 利用者像: 知的障がい、精神障がい、身体障がいがある成人(難病指定患者も一部含む)
- Ⅱ 目的: 社会に出る第一歩の支援

「太陽が昇り、風を感じて、汗を流し、水分を求め、太陽が沈む」
規則正しい自然のリズムや季節感を肌で感じることで、自然とQOLの向上に繋がっている。

(例) 年中半袖肌着1枚、ジャージ1枚で過ごしていた方

☐ 夏には長袖と着替え、冬には長袖と脱ぎ着ができる上着を持参した。

20年近く引きこもっていた方が、毎日山に来ることができるようになったケースも！



IV. 『農福連携』の取り組み



農産物

ブランド化

- ㊦ 保育園の給食に提供(食育・地産地消) ㊦ 食育支援(保育園での農作業体験もご利用者主体で支援)
- ㊦ 有機栽培・地産地消品としてやおやにて販売
- ㊦ いばきた農産物の街頭販売(出張販売会など)



『付加価値を求めて』

- ㊦ 「障がいがある方が作った製品です！」は求めていない。一般農産物として勝負したい。
- ㊦ 「地産地消」「有機野菜」の付加価値を

IV. 『農福連携』の取り組み



農産物



『量より質を』

- ㊦ 生産性ももちろん大切。
- ㊦ しかし、生育のプロセスを実感しながらともに成長を！

栽培→収穫→商品化→売上→収穫量の増加を目指す・・・。

㊦ 日々食卓に並ぶ野菜はどうやってできているの？

(例:「きゅうりって土の中にあるんだよね！」と話すご利用者様がいらっしゃった。)

種の植え付け ㊦ 水やり ㊦ 肥料 ㊦ 間引き ㊦ 収穫などのプロセスを体感しながら、栽培できるように支援体制を構築した。



IV. 『農福連携』の取り組み

お客様



『すべての人を対象に』

「買い物弱者」「農産物弱者」をターゲットに

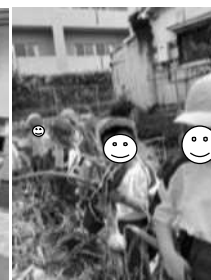
幅広く取引できる団体にも

- ・特別養護老人ホームをはじめとする福祉施設への出張販売
 - ・過疎地への出張販売（買い物弱者）
 - ・市街地での直売会（農産物弱者-特に若者層）
- 積極的に外に出て販売を実施。

また、農産物のみならず、卵や豆腐、パン、日用品などのお届けも同時に実施し、包括的な支援に取り組んでいる。

「一つの事業所の取り組みが、法人全体の取り組みに」

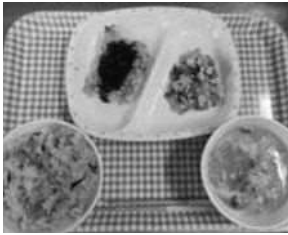
ファーム大岩の杜の活動を通じて、
認定こども園や高齢者デイサービスでの農園活動
法人内事業所のイベントでの販売会出店など、
法人全体で農福連携の取り組みを行うようになりました。
定期的に、事業所間交流も行い、ファーム大岩の杜で
培ったノウハウを他事業所に伝達する取り組みも行っ
ております。



認定こども園×ファーム大岩の杜 ―農福連携を通じた食育の取り組み―

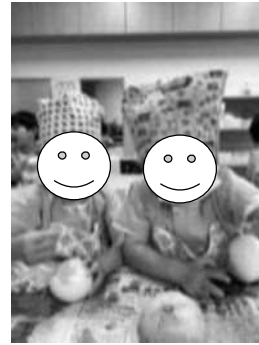
Ⅰ 地産地消農産物を給食用に提供

法人内認定こども園へ自主野菜や地域の農産物を給食用に納品しており、安全安心の給食を食育として園児に提供している。
また、青果以外にお米や鶏卵なども地産地消を掲げ、ファーム大岩の杜を通じて地域の生産者と取引を行っている。



Ⅱ 農園活動の取り組み

農園の取り組みを各認定こども園にて実施。
秋の芋ほり体験や収穫祭など季節に応じて、定期的に、ファーム大岩の杜と交流会を行い、ノウハウの伝承に取り組んでいる。



Ⅳ. 『農福連携』の成果 ―よこのつながり―

元受刑者の
中間的就労支援

買い物弱者への
買い物支援

過疎地の
まちづくり・観光

認定こども園
食育への取り組み

障害福祉サービス
就労継続支援B型事業

当初、障害福祉サービス事業の一環として取り組みを開始した。



様々な分野とのつながりを
持つことができ、総合的な
取り組みを、農福連携を中心に
展開することができている。

環境問題への
取り組み

農福連携

引きこもり・生活困窮者
の就労支援

企業・農家
との連携強化

高齢農家への
農作業支援

V. 『農福連携』の今後

障がい者福祉の発信拠点 × 農福連携の発信拠点

- 農作業の取り組みを通じた「障がい者理解の啓発」
- 地域農家との共同を活かしたイベントや商品開発の実施
- ご利用者様の工賃向上に向けた取り組み
- 法人内にとどまらず、外部への情報発信・製品PRの強化



地域の活性化
世代間交流
食育への取り組み
様々な福祉サービスの提供



ⅱ 参考文献・掲載にご協力いただいた関係機関等一覧

Ⅰ 参考文献

- ▶厚生労働省 障害福祉サービスの体系
- ▶厚生労働省 平成29年度障害者総合福祉推進事業
就労継続支援 A 型・B 型の賃金・工賃の向上に関する
モデル事例収集と成功要因の分析に係る調査研究

Ⅰ 掲載協力関係機関等

- ▶茨木市 都市整備部 北部整備推進課
- ▶茨木市 福祉部 障害福祉課
- ▶茨木市市民団体 遊来亭
- ▶地域農家の方19名
- ▶千提寺農園
- ▶提携小売店等の皆さん11事業所
- ▶認定こども園 ちとせ学院
- ▶デイサービスセンター未来
- ▶地域活動支援センターⅢ型 ひまわりの杜

ご清聴ありがとうございました